

1 南檜山地域・職域連携推進連絡会について

設置目的

住民の健康づくりを推進するため、地域保健と職域保健が連携を図り、健康情報の共有や保健事業の共同実施、社会資源の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制の整備を図ることを目的に平成18年に設置。

南檜山圏域における重点的な取組について

「10年後、20年後を見据えた健康づくり」

～若い世代（小中学生～親世代）、働く世代（～40代）へのアプローチ～

小中学生～親世代
へのアプローチ



働く世代（～40代）
へのアプローチ

糖尿病対策の強化

目的・課題・目標（令和3～5年度）

目的

各町、医療機関、関係団体、保健所等の相互の連携体制強化（情報共有、検討、実施）により、若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）に対する生活習慣改善（特に減塩）の重要性について普及啓発を進め、生活習慣病（糖尿病、高血圧）の発症予防・重症化予防を図る。

課題

【課題1】～健康課題～

- 糖尿病リスク因子であるHbA1cの健診有所見者率が全道より高い。
- 収縮期血圧の健診有所見者率が全道より高い。
- 腹囲、BMIの健診有所見者率が全道より高い。小・中学生においても肥満傾向がみられる。

【課題2】～連携体制～

- 若い世代（小・中学生～親世代）及び働く世代（～40代）の生活習慣病予防を図るため、各関係機関（町、医療機関、教育、職域、保健所）の連携強化（情報共有、検討、実施）が必要。
- 糖尿病（重症化）リスクがある者に対する支援において、更なる連携強化（南檜山糖尿病重症化予防プロジェクトの再周知、活用促進、指導のブラッシュアップ）が必要。

目標

【目標1】

- 職域団体、各町、医療機関、関係団体、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、取組の検討、実施）し、働く世代（～40代）に対する生活習慣病対策（糖尿病、高血圧（減塩））に向けた取組の推進を図る。

【目標2】

- 教育局、教育委員会、学校（養護教諭、栄養教諭）、各町、保健所が連携を強化（情報共有、課題の明確化、検討、実施）し、生活習慣改善（減塩）に向けた取組を一体的に推進することで、小・中学生～親世代に対する減塩の意識付け・行動変容へアプローチする。

【目標3】

- 糖尿病（重症化）リスク者を適切なタイミングで拾い上げ、必要な支援を実施することができる。
- 治療効果を高めるため、減塩指導を強化（対象者の食塩摂取状況の確認、指導媒体の作成等）する。

R5の取り組み

(1) 健診（検診）の普及啓発について

『南檜山地域で「働く人」と「ご家族」のための健診ガイド』
の活用状況アンケートより



【内容】

各町別にコンパクトにまとめられ、とても見やすい。
年度途中で変更内容があるので年に1回は更新が必要。

【活用状況】

- 配布した 5 ➡ 感想を聞くことができていない。
はっきりとした効果はなかったように思う。
- 設置した 6 ➡ ほとんど減っていない。
設置場所の検討が必要。
手に取り見ていたが、効果不明（未確認）。
- 未活用 3 ➡ 部数が少なかった。
内容変更があり配布できず。

【普及啓発媒体として】

今後も活用できる 6 / 違う形での普及啓発が必要 7 / 使い道がわからない 1



R5の取り組み

(2) 健康教育（高血圧、減塩、メンタル…）の実績増に向けて

- ・対象者に直接働きかける方法として、健康教育等によるアウトリーチの実績を増やしたい。
- ・各町保健師は依頼があれば駆けつける。健診結果の分析からでも対応可能。まずは相談から！



R5の取り組み

(3) 新団体の参画について

- ・現場の意見を把握し、具体的な活動に反映するため、新たな業種や団体の参画も必要に応じて検討したい。
- ・漁協や商工会、食生活改善協議会、振興局職員厚生担当、協会けんぽ・国保連などの協力が得られるとよいのでは。



令和5年度の方向性

- 1 健診を受けていない層へのアプローチ (小規模事業者、被扶養者等)
「南檜山地域で働く人とご家族のための健診ガイド」の活用状況や改善点の評価
- 2 圏域特有の健康課題対策 (高血圧、糖尿病)
健康教育 (高血圧、減塩、メンタル…) の実績増に向けて
- 3 地域側と職域側の課題共有
新たな職能団体の発掘？

1 健診を受けていない層へのアプローチ (小規模事業者、被扶養者等)

???

2 圏域特有の健康課題対策 (高血圧、糖尿病)

???

3 地域側と職域側の課題共有

???

対策の具体案

- ①管内統一の印象に残るスローガンのようなもので啓発してみる。
- ②各職域保険者の健診普及啓発担当者と情報共有や連携ができれば良い。
- ③二次元バーコードを通してホームページやネット掲載する。
- ④A 4用紙 1枚程度に重要なことを記入し、各会議等で周知を図る。
- ⑤相談窓口を臨時開設し、健診に繋げる。

地域・職域連携構成団体の取組

例

- 目標に対して各構成団体が自らの取組を計画・実施
- 協議会において情報共有

